



JFE

JFEグループ インベスターズ・ミーティング

2025年5月8日

JFEホールディングス株式会社

- 業績ハイライト
- JFEグループ 2024年度決算
- JFEグループ 2025年度見通し
- 配当について
- トピックス

参考資料① 財務関連データ・損益分析他

参考資料② 事業環境指標他

本資料は当社の2024年度の業績の状況について一般に公表するために作成された資料であり、金融商品取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、日本国、米国又はそれ以外の一切の法域における有価証券への投資に関する勧誘を構成するものではありません。提示された予測等は説明会の時点で入手された情報に基づくものであり、不確定要素を含んでおります。従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控え下さいますようお願い致します。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。



業績ハイライト

- 2024年度：厳しい事業環境の下、製造トラブルの影響やグループ会社の収益悪化、棚卸資産評価差損益の影響等により、**当期利益は対前年度▲1,056億円の918億円**。
- 2025年度：海外市況低迷の長期化や米国等各国の通商リスクの発現を想定した数量減、急激な円高進行による輸出の採算性悪化等により、**当期利益は対前年度▲168億円の750億円、年間配当80円**を見込む。

2024年度
決算

事業利益 1,353億円 (対前年度▲1,629億円、対前回公表+203億円)

※棚卸資産
評価差等除き 2,363億円 (対前年度▲599億円、対前回公表+253億円)

当期利益 918億円 (対前年度▲1,056億円、対前回公表▲32億円)

年間配当 100円 (前回公表通り)

2025年度
見通し

事業利益 1,400億円 (対前年度+47億円)

※棚卸資産
評価差等除き 2,000億円 (対前年度▲363億円)

当期利益 750億円 (対前年度▲168億円)

年間配当 80円 (対前年度▲20円)

・単独粗鋼生産量
2,100万トン程度
(対前年度▲95万t)
・為替140円/ドル前提
(前年度平均：152.7円/ドル)

JFEグループ 2024年度決算

2024年度 決算概要

➤ **事業利益 1,353億円** (対前回+203億円、対前年度▲1,629億円)

➤ **当期利益 918億円** (対前回▲32億円、対前年度▲1,056億円)

(億円)	2023年度 実績	2024度 見通し(前回)	2024年度 実績			増減 (対前年度)	増減 (対前回公表)
	年間	年間	上期	下期	年間	年間	年間
売上収益	51,746	49,000	24,507	24,088	48,596	▲3,150	▲404
事業利益 [棚卸資産評価差等除き]	2,982 [2,962]	1,150 [2,110]	818 [1,348]	534 [1,014]	1,353 [2,363]	▲1,629 [▲599]	203 [253]
金融損益	▲186	▲200	▲98	▲109	▲207	▲21	▲7
セグメント利益	2,796	950	720	425	1,145	▲1,651	195
個別開示項目	▲112	450	▲121	418	297*	409	▲153
税引前利益	2,683	1,400	599	843	1,443	▲1,240	43
税金費用・非支配持分帰属当期利益	▲709	▲450	▲174	▲349	▲524	185	▲74
当期利益	1,974	950	424	493	918	▲1,056	▲32

* 子会社の支配喪失に伴う損失▲131億円、減損損失▲251億円、京浜土地活用整備推進費▲146億円、
土地売却益866億円、PCB処理費用▲39億円

事業利益：税引前利益から金融損益及び金額に重要性のある一過性の項目を除いたもの
事業利益(棚卸資産評価差等除き)：連結事業利益から、鉄鋼事業の棚卸資産評価差等を除いたもの
セグメント利益：事業利益に金融損益を含めたもの



2024年度 決算概要 セグメント別

(億円)		2023年度 実績	2024年度 見通し(前回)	2024年度 実績			増減 (対前年度)	増減 (対前回公表)
				上期	下期	年間		
	鉄鋼事業	37,160	33,800	17,293	16,358	33,651	▲3,509	▲149
	エンジニアリング事業	5,399	5,800	2,695	3,003	5,698	299	▲102
	商社事業	14,764	14,500	7,155	7,230	14,385	▲379	▲115
	調整額	▲5,578	▲5,100	▲2,635	▲2,503	▲5,139	439	▲39
売上収益		51,746	49,000	24,507	24,088	48,596	▲3,150	▲404
事業利益 (A)		2,982	1,150	818	534	1,353	▲1,629	203
金融損益 (B)		▲186	▲200	▲98	▲109	▲207	▲21	▲7
	鉄鋼事業	2,027	260	345	18	363	▲1,664	103
	エンジニアリング事業	243	200	89	104	193	▲50	▲7
	商社事業	489	450	224	255	479	▲10	29
	調整額	35	40	62	46	108	73	68
セグメント利益 (A+B)		2,796	950	720	425	1,145	▲1,651	195

事業利益：税引前利益から金融損益及び金額に重要性のある一過性の項目を除いたもの

セグメント利益：事業利益に金融損益を含めたもの



連結キャッシュフロー、財務指標

JFE

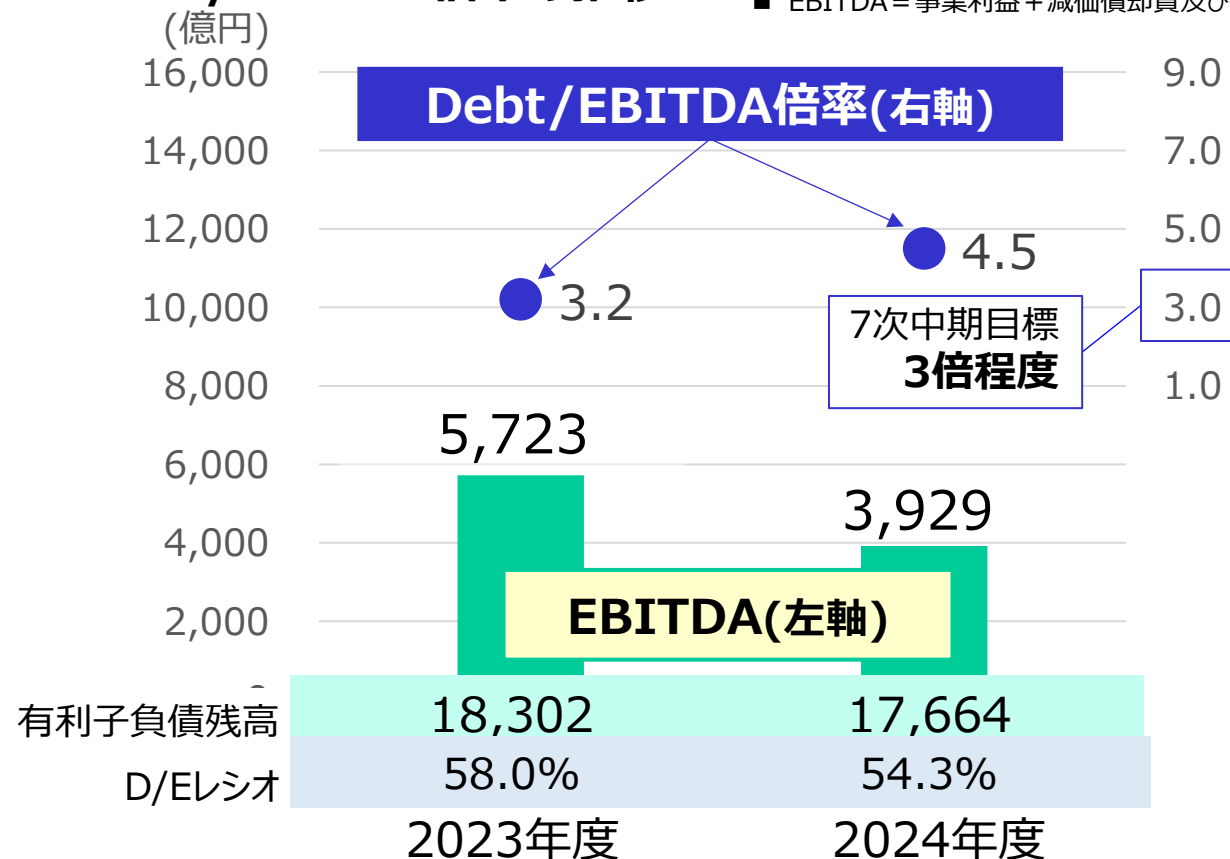
- 24年度末の有利子負債残高は、土地売却を中心とした資産圧縮等により、**前期に比べ638億円減少**し、1兆7,664億円
- Debt/EBITDA倍率は目標3倍程度に対し4.5倍と未達

連結キャッシュフロー

(億円)	
Cash-in	Cash-out
当期利益	設備投資 および投融資
918	
減価償却費 および償却費	
2,576	3,844
資産圧縮	配当金支払
955	636
現預金減	運転収支他
702	33
	有利子負債減
	638

Debt/EBITDA倍率の推移

- Debt/EBITDA倍率 = 有利子負債残高/EBITDA
- EBITDA = 事業利益 + 減価償却費及び償却費



JFEスチール 2024年度決算



JFEスチール 2024年度 決算

JFE

	単位	2023年度	2024年度					2024年度 前回見通し (年間)
		年間	上期			下期	年間	
				10-12月	1-3月			
売上収益	億円	37,160	17,293	8,289	8,069	16,358	33,651	33,800
セグメント利益	億円	2,027	345	104	▲86	18	363	260
	棚卸資産評価差等除き*	億円	2,007	875	444	54	498	1,373
単独粗鋼生産量	万 t	2,345	1,103	553	539	1,091	2,195	2,200程度
連結粗鋼生産量	万 t	2,480	1,169	583	567	1,150	2,320	2,330程度
単独鋼材出荷量	万 t	2,077	966	487	484	971	1,936	1,940程度
鋼材輸出比率 (単独・金額ベース)	%	42.9	42.4	40.0	41.9	40.9	41.7	42程度
鋼材平均価格	千円/ t	131.5	135.2	127.0	124.0	125.5	130.3	130程度
為替レート	円/ドル	143.8	153.9	149.0	154.1	151.6	152.7	153程度
期末為替レート	円/ドル	151.4	142.7	158.2	149.5	149.5	149.5	155程度

* セグメント利益から、棚卸資産評価差、キャリーオーバー、為替換算差等を除いた損益

2024年度 セグメント利益 対前回見通し +103億円内訳

(億円)

JFEスチール	2024年度 前回見通し	2024年度 実績	増減 対前回
セグメント利益	260	363	103
棚卸資産評価差等除き	1,220	1,373	153

1. コスト

±0

2. 数量・構成

±0

・ 粗鋼2,200万t程度→2,195万t

3. スプレッド*

±0

4. 棚卸資産評価差等

▲50

- ・ 棚卸資産評価差±0 (▲330→▲330)
- ・ キャリーオーバー影響±0 (▲660→▲660)
- ・ 為替換算差▲50 (+30→▲20)

5. その他

+153

- ・ Gr会社 + 50
- ・ 海外Gr会社の減損損失 + 100 (▲140→▲40)

2024年度 セグメント利益 対前年度 ▲1,664億円内訳

(億円)

JFEスチール	2023年度 実績	2024年度 実績	増減 対前年度
セグメント利益	2,027	363	▲1,664
棚卸資産評価差等除き	2,007	1,373	▲634

1. コスト

+270

- ・ 構造改革効果 +250
- ・ 操業改善他 +20

2. 数量・構成

▲390

- ・ 粗鋼2,345万t→2,195万t

3. スプレッド*

+100

- ・ 原料物価変動の販価反映時期差
- ・ 販価改善活動によりスプレッド改善

4. 棚卸資産評価差等

▲1,030

- ・ 棚卸資産評価差 ▲380 (+50→▲330)
- ・ キャリーオーバー影響 ▲680 (+20→▲660)
- ・ 為替換算差 ▲170 (+150→▲20)
- ・ 構造改革費用 (一過性) +200(▲200→±0)

5. その他

▲614

- ・ Gr会社 ▲330
- ・ 海外Gr会社の減損損失 ▲40 他

JFEエンジニアリング 2024年決算

2024年度 決算

- エンジニアリング：売上収益は3期連続で過去最高を更新：**5,698億円**（対前年度+299億円）
セグメント利益は前回見通し並みの**193億円**（対前年度▲50億円）

（億円）	23年度 実績	24年度 見通し	24年度 実績	増減 （対前年同期）	増減 （対見通し）
受注高※	5,630	6,000	5,795	165	▲205
売上収益	5,399	5,800	5,698	299	▲102
セグメント利益	243	200	193	▲50	▲7

※24年度より自治体等から受託したごみ処理施設等の長期O&M契約の受注計上方法を変更。
旧計上方法で計算した場合、24年度の受注実績は5,585億円。

JFE商事 2024年決算

2024年度 決算

➤ 商社：セグメント利益は前回見通し+29億円の**479億円**（対前年度▲10億円）

(億円)	23年度 実績	24年度 見通し	24年度 実績	増減 (対前年同期)	増減 (対見通し)
売上収益	14,764	14,500	14,385	▲379	▲115
セグメント利益	489	450	479	▲10	29

2025年度業績について

足元の事業環境認識について

販売環境

- 国内： 製造業向けは25年度にかけて大きな改善は見込みづらい。建設業向けは、**建設コスト上昇・人手不足の影響による低迷状態が継続**。加えて、特に北米向けの輸出割合が相対的に高い自動車分野・建産機分野を中心に**米国の通商措置が最大のリスク要因**であり、その動向と影響について、**強い緊張感をもって注視**。
- 海外： 中国鋼材の供給過剰・輸出増がアジア圏の市況を押し下げている構図に大筋で変化はない。米国をはじめ、各国の通商措置の動きも一層活発化しており、**当面は厳しい環境が続くものと想定**。

原料市況

- 鉄鉱石： 米中の関税の応酬により世界経済の先行きは不透明な状況だが、**当面足元のレベルが継続するものと想定**。
- 原料炭： 世界鉄鋼需要は低迷が続き、市況は下落しているが、天候影響や一部炭鉱の生産トラブルによる**供給リスクが意識され、一定のレベルに回復を想定**。

25年度見通し

海外市況低迷の長期化や米国等各国の通商リスクの発現を想定し、**粗鋼生産量は対24年度▲95万tの2,100万t/年程度**を見込む。
世界的に鋼材需要の盛り上がり欠ける状況の継続及び急激な円高進行による輸出の採算性悪化等を前提に、**25年度の収益見通しを策定**。

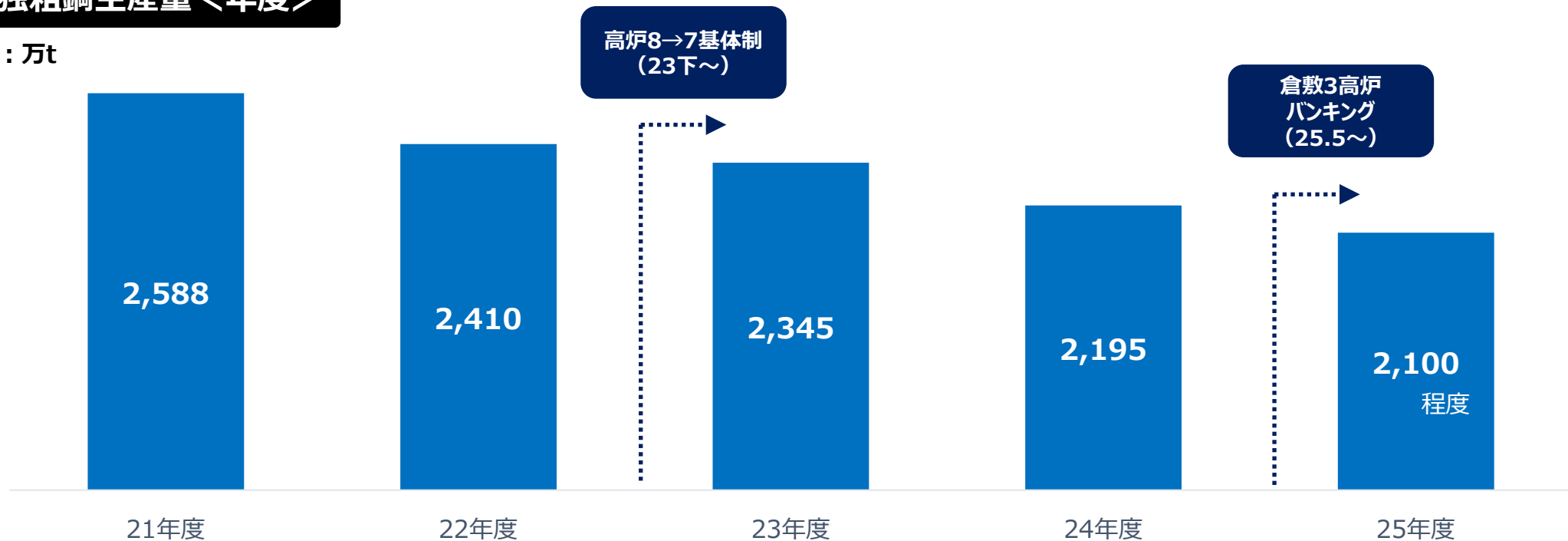
鉄鋼需要動向を踏まえた高炉の稼働について

- 足元の厳しい事業環境が継続する見通しにあることを踏まえ、より効率的な生産体制で操業を行う観点から、倉敷地区第3高炉のバンキング*を実施することを決定。（2025年4月2日リリース）
- 実施期間：25年5月～倉敷地区第2高炉休止迄（予定）
- 実施の効果：他の高炉の稼働率が上昇することによる、生産効率の向上。

(*) バンキング：送風を停止し、再稼働可能な状態で休止すること

単独粗鋼生産量＜年度＞

単位：万t





2025年度業績見通し

(億円)	2024年度 実績 (A)	2025年度 見通し (B)	増減 (B-A)
売上収益	48,596	47,500	▲1,096
事業利益 [棚卸資産評価差等除き]	1,353 [2,363]	1,400 [2,000]	47 [▲363]
鉄鋼事業	363	400	37
エンジニアリング事業	193	200	7
商社事業	479	500	21
セグメント利益 (調整額込み)	1,145	1,100	▲45
個別開示項目	297	-	▲297
税引前利益	1,443	1,100	▲343
親会社の所有者に帰属する当期利益	918	750	▲168

事業利益：税引前利益から金融損益及び金額に重要性のある一過性の項目を除いたもの
 事業利益(棚卸資産評価差等除き)：連結事業利益から、鉄鋼事業の棚卸資産評価差等を除いたもの
 セグメント利益：事業利益に金融損益を含めたもの



2025年度業績見通し 鉄鋼事業

JFE

粗鋼生産量(JFEスチール単独)	2024年度（実績）		2025年度（見通）	
	2,195万t		⇒	2,100万t程度

為替レート	2024年度（実績）		2025年度（見通）	
	152.7円/ドル		⇒	140円/ドル

JFEスチール	2024年度 実績	2025年度 見通し	増減 対前回
セグメント利益	363	400	37
棚卸資産評価差等除き	1,373	1,000	▲373

1. コスト	+240	・ 操業改善他
2. 数量・構成	▲150	・ 粗鋼2,195万t→2,100万t程度 ・ 高付加価値品拡大（電磁・風力向け厚板等）
3. スプレッド*	▲560	・ 大幅な円高による輸出採算悪化 ・ 原料物価変動の販価反映時期差
4. 棚卸資産評価差等	+410	・ 棚卸資産評価差▲180（▲330→▲510） ・ キャリーオーバー影響+670（▲660→+10） ・ 為替換算差▲80（▲20→▲100）
5. その他	+97	・ Gr会社（JSW、CSI、豪州炭鉱権益（ブラックウォーター）等） ・ その他

* 諸物価(金属、エネルギー、資材、物流、労務費、為替影響等)を含むスプレッド



2025年度業績見通し エンジニアリング事業・商社事業

エンジニアリング事業

(億円)	24年度実績 (A)	25年度見通し (B)	増減 (B) - (A)
受注高	5,795	7,000	1,205
売上収益	5,698	6,000	302
セグメント利益	193	200	7

商社事業

(億円)	24年度実績 (A)	25年度見通し (B)	増減 (B) - (A)
セグメント利益	479	500	21

➤ エンジニアリング事業：

受注高：Waste to Resource分野、洋上風力等で受注拡大の見通し

セグメント利益：受注済プロジェクトの着実な遂行により200億円の見通し

➤ 商社事業：

セグメント利益：前年度比+21億円の見通し

国内建築分野の低調、中国経済の停滞継続を見込む一方、米国保護政策を背景にした北米の市況上昇や国内グループ会社のスプレッド改善・合理化促進による収益改善を想定

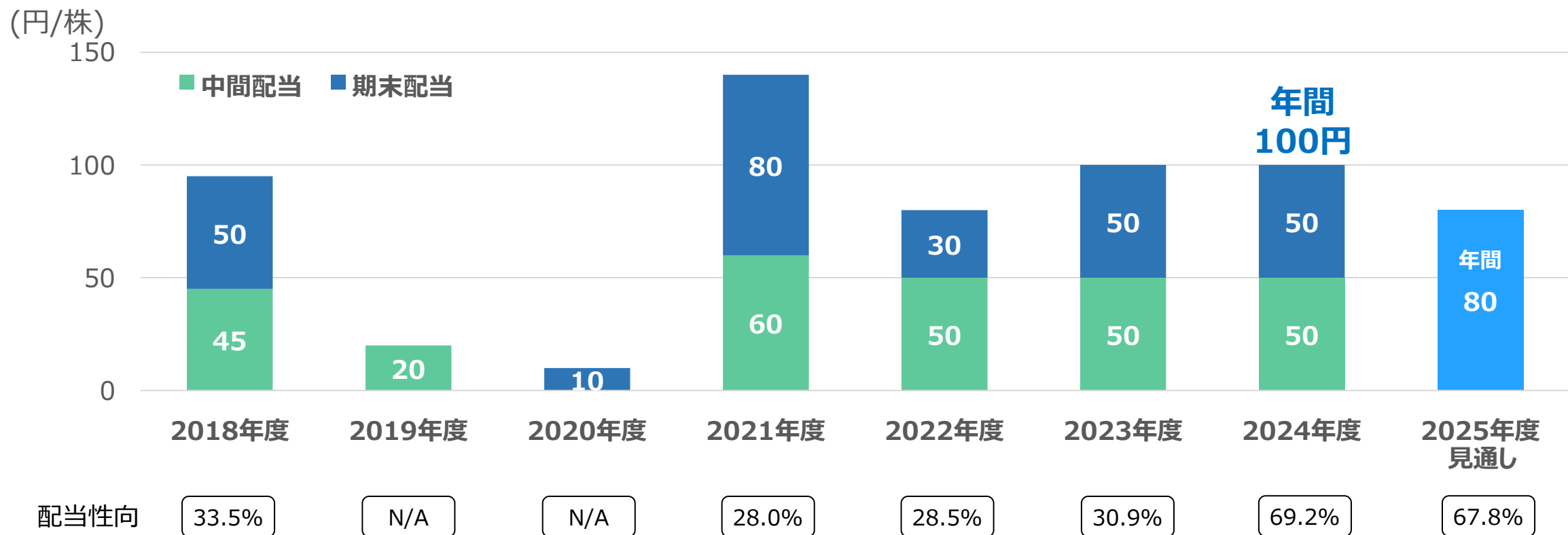
配当について

配当について

➤ 2024年度の期末配当については、前回公表通り **1株当たり50円**とする案を株主総会にお諮りする方針。（年間配当100円）

➤ 2025年度の年間配当については、第8次中期経営計画の方針(*)に従い、**1株当たり80円の見通し**

(*) 配当性向30%程度、但し、80円/株を下限とする



トピックス

「Innovation Momentum 2025:The Global Top 100」を初受賞

～特許データが示す世界のイノベーションをリードする企業100社に選出～

賞の概要

「世界の科学技術の未来をリードするイノベティブな企業」100社を
レクシスネクシス社(本社:米国)が独自の特許評価指標を用いて選出する賞

評価指標

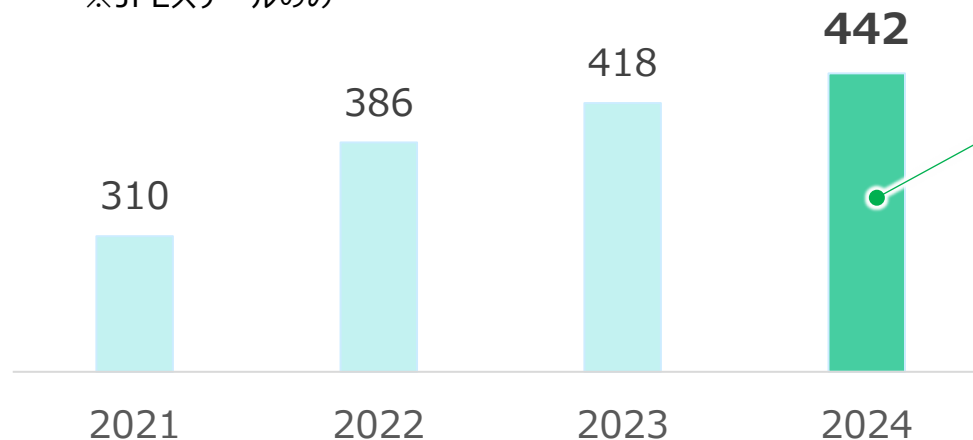
- ・企業が保有する特許の価値に基づいた競争力
- ・過去2年間の特許ポートフォリオの変化における勢いの強さ

主な受賞会社

＜海外＞ Apple, Nvidia, IBM, Intel, Pfizer, Tesla, Huawei 等
 ＜国内＞ JFEホールディングス(*), ダイキン工業, 東京エレクトロン 等 全5社
 (*)JFEスチールの特許を中心にJFEグループで受賞



＜参考＞ 国際特許(PCT)出願の公開件数（件/年）
 ※JFEスチールのみ



・高付加価値品
 ・ソリューションビジネス関連
 等、幅広く取得

参考資料①

財務関連データ・損益分析 他

中期主要収益目標および業績概況

		7次中期 経営計画 2024年度	2021年度 実績	2022年度 実績	2023年度 実績	2024年度 実績
グループ全体	連結事業利益 [鉄鋼事業 棚卸資産評価差等除き]	3,200億円	4,164億円 [2,224億円]	2,358億円 [1,628億円]	2,982億円 [2,962億円]	1,353億円 [2,363億円]
	親会社所有者帰属当期利益	2,200億円	2,880億円	1,626億円	1,974億円	918億円
	ROE	10%	15.7%	7.9%	8.6%	3.7%
事業会社	鉄鋼事業 トン当たり利益* [棚卸資産評価差等除き]	10千円/t	14千円/t [6千円/t]	7千円/t [3千円/t]	10千円/t [10千円/t]	2千円/t [7千円/t]
	セグメント利益 [棚卸資産評価差等除き]	2,300億円	3,237億円 [1,297億円]	1,468億円 [738億円]	2,027億円 [2,007億円]	363億円 [1,373億円]
	エンジニアリング 事業 セグメント利益	350億円	260億円	134億円	243億円	193億円
	商社事業 セグメント利益	400億円	559億円	651億円	489億円	479億円

* 鉄鋼事業のトン当たり利益（連結セグメント利益÷単体鋼材出荷数量）



主な財務関連データ

JFE

【日本基準】

年度	'16	'17	'18
【主要財務指標】(億円、%、倍)			
経常利益	847	2,163	2,211
EBITDA ※1	2,799	3,888	4,059
ROS ※2	2.6%	5.9%	5.6%
ROE ※3	3.7%	7.6%	8.3%
ROA ※4	2.3%	5.2%	5.1%
借入金・社債等残高（期末）	13,754	13,309	14,499
Debt/EBITDA倍率 ※5	4.9倍	3.4倍	3.6倍
D／Eレシオ ※6	51.4%	58.1%	62.0%
【1株当たり情報】(円/株、%)			
親会社株主に帰属する当期純利益	118	251	285
配当金	30	80	95
配当性向	25.5%	31.9%	33.3%

【日本基準】

※1 EBITDA: 経常利益+支払利息+減価償却費

※2 ROS: 経常利益/売上高

※3 ROE: 親会社株主に帰属する当期純利益/自己資本

※4 ROA: (経常利益+支払利息)/総資産

※5 Debt/EBITDA倍率: 借入金・社債等残高/EBITDA

※6 D/Eレシオ: 借入金・社債等残高/自己資本

但し、格付け評価上の資本性を持つ負債について、格付機関の評価により資本に算入

【IFRS】

年度	'18	'19	'20	'21	'22	'23	'24
【主要財務指標】(億円、%、倍)							
事業利益	2,320	378	▲129	4,164	2,358	2,982	1,353
EBITDA ※1	4,282	2,694	2,234	6,687	5,054	5,723	3,929
ROS ※2	6.0%	1.0%	▲0.4%	9.5%	4.5%	5.8%	2.8%
ROE ※3	8.6%	▲11.1%	▲1.3%	15.7%	7.9%	8.6%	3.7%
ROA ※4	5.0%	0.8%	▲0.3%	8.4%	4.4%	5.3%	2.4%
有利子負債残高（期末）	15,238	18,143	18,061	18,494	18,629	18,302	17,664
Debt/EBITDA倍率 ※5	3.6倍	6.7倍	8.1倍	2.8倍	3.7倍	3.2倍	4.5倍
D／Eレシオ ※6	68.2%	96.4%	93.2%	80.8%	67.8%	58.0%	54.3%
【1株当たり情報】(円/株、%)							
親会社の所有者に帰属する当期利益	284	▲343	▲38	500	281	323	144
配当金	95	20	10	140	80	100	100
配当性向	33.5%	—	—	28.0%	28.5%	30.9%	69.2%

【IFRS】

※1 EBITDA: 事業利益+減価償却費及び償却費

※2 ROS: 事業利益/売上収益

※3 ROE: 親会社の所有者に帰属する当期利益/親会社の所有者に帰属する持分

※4 ROA: 事業利益/資産合計

※5 Debt/EBITDA倍率: 有利子負債残高/EBITDA

※6 D/Eレシオ: 有利子負債残高/親会社の所有者に帰属する持分

但し、格付け評価上の資本性を持つ負債について、格付機関の評価により資本に算入



JFEスチール 四半期別データ

JFE

	単位	2022年度					2023年度					2024年度				
		4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	年間	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	年間	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	年間
売上収益	億円	9,326	9,863	9,869	9,753	38,811	9,172	9,486	9,156	9,346	37,160	8,606	8,687	8,289	8,069	33,651
セグメント利益	億円	930	552	218	▲232	1,468	681	547	482	317	2,027	315	30	104	▲86	363
棚卸資産 評価差等除*	億円	▲230	552	228	188	738	591	647	492	277	2,007	365	510	444	54	1,373
単独 粗鋼生産量	万t	643	621	548	597	2,410	605	611	562	567	2,345	548	555	553	539	2,195
連結 粗鋼生産量	万t	677	659	581	629	2,548	638	647	595	601	2,480	580	589	583	567	2,320
単独 鋼材出荷量	万t	554	532	525	564	2,174	523	542	508	504	2,077	470	496	487	484	1,936
鋼材輸出比率 単独・金額ベース	%	48.5	45.0	41.0	43.6	44.5	44.2	44.2	41.6	41.3	42.9	40.6	44.2	40.0	41.9	41.7
鋼材平均価格	千円/t	126.7	136.7	136.3	124.0	130.8	128.5	130.1	132.5	135.2	131.5	139.2	131.5	127.0	124.0	130.3
為替レート	円/ドル	126.5	136.6	144.0	133.2	135.1	135.8	144.1	148.7	146.7	143.8	155.0	152.8	149.0	154.1	152.7
期末為替レート	円/ドル	136.7	144.8	132.7	133.5	133.5	145.0	149.6	141.8	151.4	151.4	161.1	142.7	158.2	149.5	149.5

*セグメント利益から、棚卸資産評価差、キャリアオーバー、為替換算差等を除いた損益

2024年度上期⇒下期 セグメント利益 ▲327億円内訳

(億円)

JFEスチール	2024年度			増減 対上期
	上期 実績	下期 実績	年間	
セグメント利益	345	18	363	▲327
棚卸資産評価差等除き	875	498	1,373	▲377

1. コスト

+10

2. 数量・構成

±0

・ 粗鋼1,103万t→1,091万t

3. スプレッド*

▲130

・ 原料物価変動の反映時期差

4. 棚卸資産評価差等

+50

- ・ 棚卸資産評価差 ▲270 (▲30→▲300)
- ・ キャリーオーバー影響+200 (▲430→▲230)
- ・ 為替換算差+120 (▲70→+50)

5. その他

▲257

- ・ 海外Gr会社の減損損失 ▲40
- ・ 経費発生時期差 等

* 諸物価(金属、エネルギー、資材、物流、労務費、為替影響等)を含むスプレッド



2024年度10-12月⇒ 1-3月 セグメント利益 ▲190億円内訳

JFEスチール		2024年度					増減 10-12月→1-3月
		4-6月 実績	7-9月 実績	10-12月 実績	1-3月 実績	年間	
セグメント利益		315	30	104	▲86	363	▲190
	棚卸資産評価差等除き	365	510	444	54	1,373	▲390

1. コスト	+60	
2. 数量・構成	+40	・ 粗鋼 553万 t →539万 t
3. スプレッド*	▲320	・ 原料物価変動の販価反映時期差
4. 棚卸資産評価差等	+200	・ 棚卸資産評価差+240 (▲270→▲30) ・ キャリーオーバー影響+110 (▲170→▲60) ・ 為替換算差▲150 (+100→▲50)
5. その他	▲170	・ 海外Gr会社の減損損失▲40 ・ 経費発生時期差 等

* 諸物価(金属、エネルギー、資材、物流、労務費、為替影響等)を含むスプレッド



グリーン鋼材JGreeX®受注状況

JFE

- 国内造船、建築を中心に、電力、消費財、海外向け等、**受注の裾野が拡大**。
- **国内自動車向けで自動車用鋼板**が、いすゞ自動車が初採用。

分野	国内/海外	品種	需要家	用途
自動車	国内 ★	自動車用鋼板	いすゞ自動車	自動車
造船	国内	厚板	桧垣造船・尾道造船・今治造船	ドライバルク船
	国内	厚板	常石造船	水素タグボート
建築	国内	厚板・形鋼・鋼管	熊谷組・住友商事	オフィスビル
	国内	鋼管	ヤシマナダ	建材流通
	国内 ★	形鋼	苫小牧栗林運輸	倉庫
	国内 ★	鋼管	JFE商事鋼管管材	鋼管流通
	国内 ★	線材	日本ファスナー工業	高力ボルト
	海外 ★	熱延鋼板	SUNSCO	倉庫
橋梁	国内 ★	厚板	横河ブリッジ（岡山市）	橋梁
	国内 ★	厚板	JFEエンジニアリング（横浜市）	橋梁
造船、建築、 海洋構造物	海外	厚板	Hock Seng Hoe	厚板流通
電力	海外	電磁鋼板	欧州変圧器メーカー	変圧器
	海外	電磁鋼板	Eaton Corporation	変圧器
	国内 ★	電磁鋼板	愛知電機	産業用大型変圧器
事務用機器	国内 ★	棒線	鈴豊精鋼	ECOコンテナ
缶	国内	ブリキ	モノファクトリー	缶バッジ
産業機械	国内 ★	冷延鋼板	ヤマハ発動機	表面実装機

★：24年度1～3Qでの新規案件

★：24年度4Qでの新規案件

グリーン鋼材市場創出に向けた取り組み

- 脱炭素社会実現に向けて、**グリーン鋼材の普及やエネルギー政策課題について提言**
(2024年6月6日 第56回 総合資源エネルギー調査会 基本政策分科会)
- グリーン鉄の市場創出に向けた「**削減実績量**」の**環境価値化における課題**や、鉄連・worldsteelと連携した**国際標準化に向けた活動進捗を説明**。
- **GX推進のためのグリーン鉄**に対し、**削減実績量の環境価値化における課題や初期需要創生のためのインセンティブが必要なことを提言し、グリーン購入法による優先的調達やCEV補助金による購入支援などのGX市場創出に係わる政策が具体化** (2024年11月25日 第3回 GX推進のためのグリーン鉄研究会)

■ 国際標準化、ルールメイキング

CoC : Chain of Custody

- ・ マスバランス方式/CoCガイドライン策定 (鉄連-高炉3社、worldsteel)
 - ✓ 鉄連ガイドライン改訂 (2025.2)、worldsteel基本原則合意 (2024.4) ガイドライン公表 (2024.11)
- ・ GHGプロトコル改訂に向けた活動
- ・ マスバランス方式/CoCに関するISO化への取り組み

■ 需要創出に向けた取り組み

- ・ JGreeX®供給開始 (2023.6)
 - ✓ **自動車**、造船、建築、電磁等、**8分野**で採用済
- ・ GXリーグ等での民間調達の削減実績量ルール化への取り組み
 - ✓ GXリーグWG 提言書 (2023.12)、METI-GX製品市場研究会 中間整理 (2024.3)
 - ✓ 経産省 **GX推進のためのグリーン鉄研究会**にオブザーバー参加 (2024.10)
 - ✓ **GX実現に向けたカーボンフットプリント活用に関する研究会に参画** (2025.02)
- ・ **GX率先実行宣言 (ゴールド)** (2024.12)



JFEエンジニアリング 受注内容

(億円)

分野	2023年度 実績	2024年度 実績	増減	2024年度 主な受注内容 ★・・・第4四半期 新規・追加受注案件
Waste to Resource	2,437	2,547	110	国内廃棄物処理施設 新設工事[★東京、★沖縄、★静岡] 国内廃棄物処理施設 更新工事[神奈川、北海道] 海外廃棄物処理施設 新設工事[台湾] 国内廃棄物処理施設 運営受託[鳥取]
カーボン ニュートラル	543	616	73	
複合 ユーティリティサービス	156	90	▲66	
基幹 インフラ	2,494	2,542	48	国内橋梁新設（京奈和自動車道[奈良]、 臨港道路[神奈川]、舞鶴若狭自動車道[京都]） 海外橋梁新設[ニカラガア] 海外橋梁改築[★フィリピン] 国内水道管路更新事業[兵庫]
受注高 合計	5,630	5,795	165	
受注残高	6,138	9,944	3,806	

※2024年度実績は、長期O&M契約の受注計上方法を変更後の数値で記載しています。



エンジニアリング事業 受注高推移

JFE

(億円)

	6次中期 (平均)	7次中期				
		21年度 実績	22年度 実績	23年度 実績	24年度 実績	(平均)
受注高 合計	4,656	5,058	5,649	5,630	5,795	5,533
Waste to Resource	1,931	2,039	2,169	2,437	2,547	2,298
カーボンニュートラル	370	874	576	543	616	652
複合 ユーティリティサービス	102	134	211	156	90	148
基幹インフラ	2,253	2,011	2,693	2,494	2,542	2,435
受注残高*1	5,490	5,601	6,156	6,138	9,944*2	

*1 6次中期は20年度末残高、それ以外は各年度末残高で表示。

*2 24年度より自治体等から受託したごみ処理施設等の長期O&M契約の受注計上方法を変更(売上収益相当額を毎年度計上⇒契約時一括計上)。過去に契約した案件の将来の売上収益見込額を受注残高に含めること等により、24年度末の受注残高が増加。

参考資料② 事業環境指標他

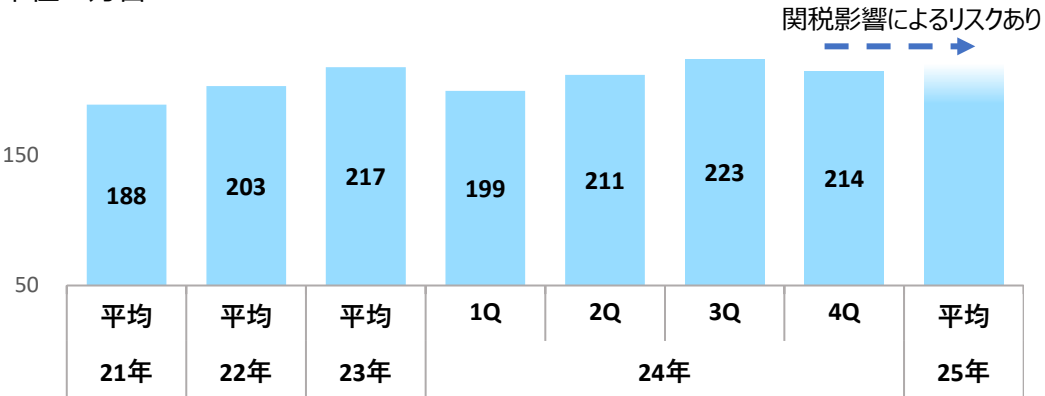


足元の事業環境認識（国内鋼材需要）

JFE

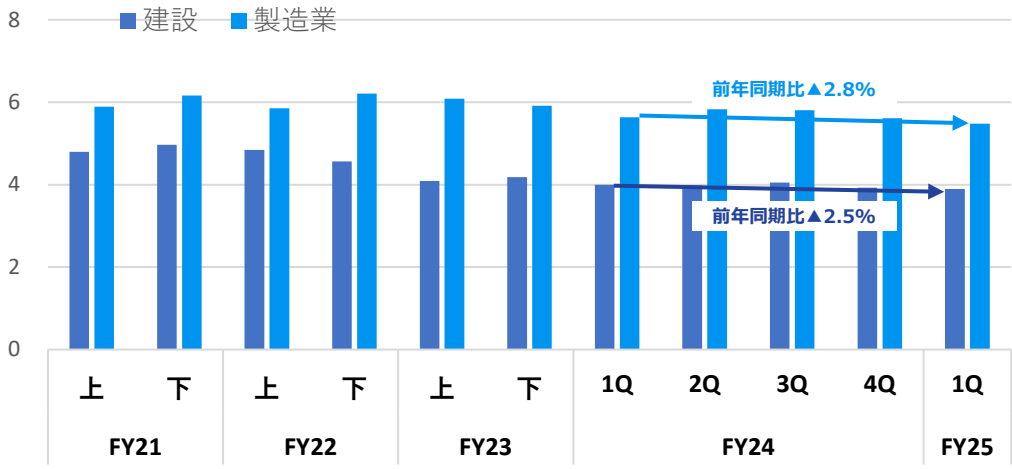
【自動車生産台数見通し/Q】

単位：万台



【国内普通鋼 鋼材消費見通し/Q】

単位：百万トン



出典：経産省 4月10日発表 242Q以降は推実

【分野別動向】

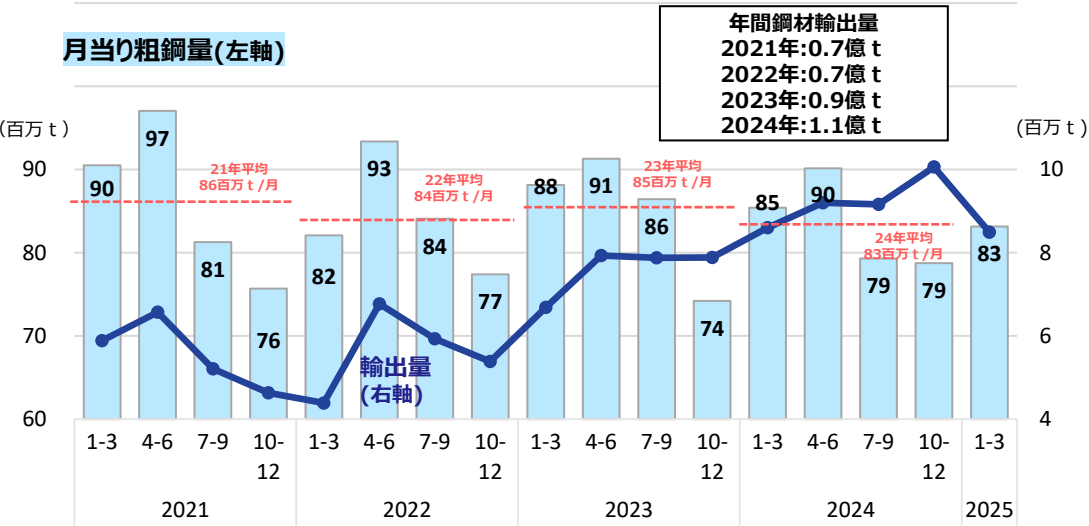
自動車	品質・認証問題の収束により、生産水準は回復するも、需要は頭打ち感。米国の自動車向け関税措置が発動したことで混乱が生じているが、国内の完成車生産の約2割は北米向けであり、当社の販売量として数十万トン級の影響が出る可能性もある。状況は依然流動的であり、情報収集やリスク分析を継続していく。
造船	引き続き堅調な需要環境にあり、国内造船各社は安定水準である約3年分の受注残を確保。一方、人手不足などを背景に建造ピッチが上がらない状況も続いており、短期的に鋼材需要の更なる伸びは見込みにくい。 - 各社の人手確保状況や生産効率化投資の動向を注視。
その他製造業	（建機）24年度以降、在庫・生産調整局面にあることに加え、米国による相互関税の動向・影響が大きな懸念。 （産機）中国の景気減速影響等で引き続き低調な環境。
建築	- 資材高騰や人手不足の影響により、中小案件の低迷が続いているほか、再開発案件等の大型案件でも需要の先送りが継続し、短期的な戻りは期待できない。 - 建設コストや金利の上昇等を背景とした建設投資・住宅取得マインドへの影響も懸念材料。
土木	引き続き高水準の予算措置がなされているものの、各種コストの上昇や人手不足等の影響を受け、実質的な活動水準や鋼材需要は漸減方向と想定。



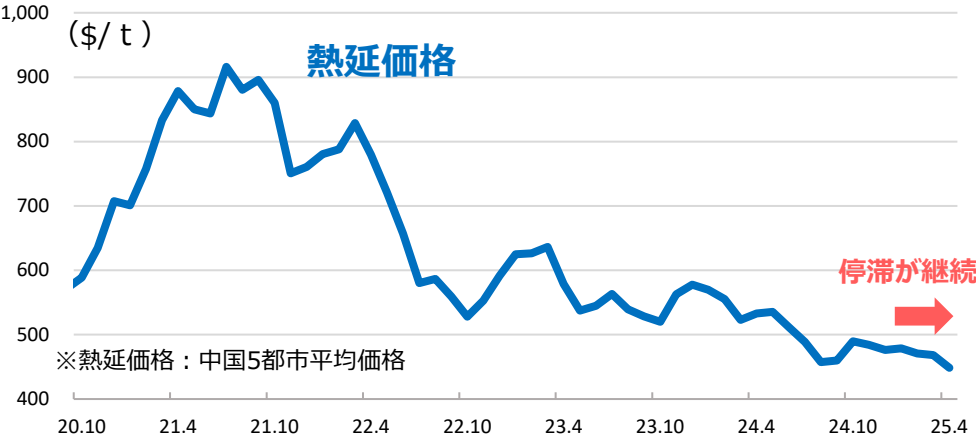
足元の事業環境認識（海外鋼材需要）

JFE

【中国 粗鋼生産・鋼材輸出量】



【中国鋼材市況】



【2025年暦年実質GDP成長率見通し】

	世界平均	米国	中国	インド	ASEAN-5
参考:2024年	3.3%	2.8%	5.0%	6.5%	4.6%
25/1見通し	3.3%	2.7%	4.6%	6.5%	4.6%
25/4見通し	2.8% ➡	1.8% ➡	4.0% ➡	6.2% ➡	4.0% ➡

出典：IMF World Economic Outlook Update 25/1公表(前回)・25/4公表(今回)

*ASEAN5：
タイ・マレーシア・インドネシア・フィリピン・シンガポール

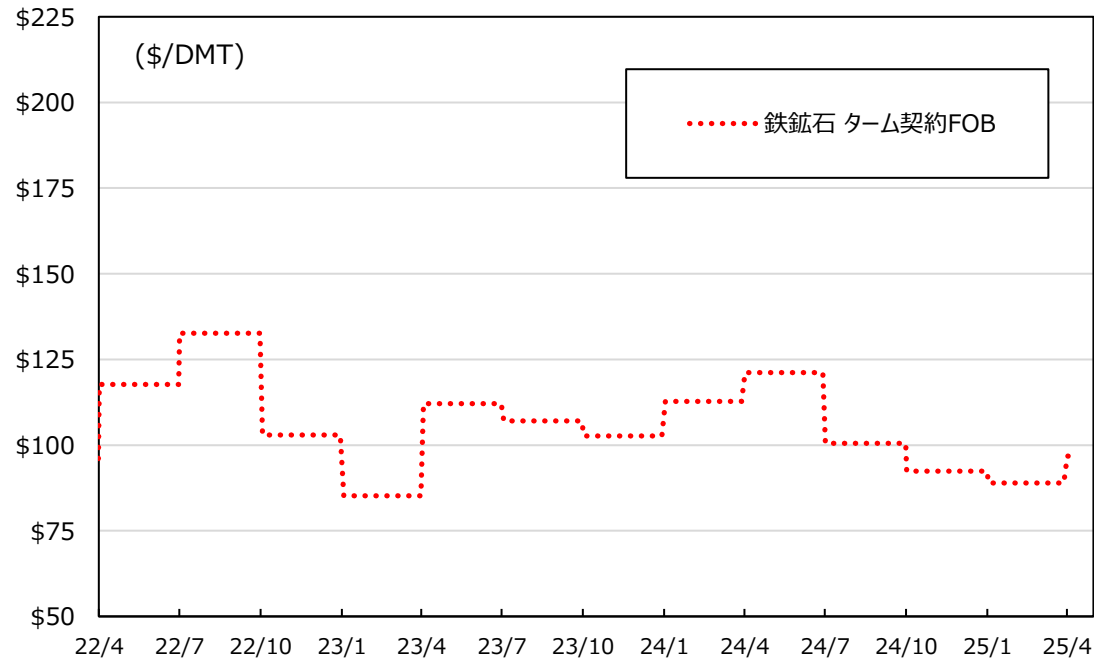
【分野別動向】

薄板	・中国の内需低迷、高位生産、輸出増の影響により、 アジア圏を中心に市況は低迷。需給バランス適正化・市況回復には一定の時間を要すると想定。
自動車	・中国、インド、先進国が支える形で、世界生産は堅調さを維持するとみていたが、米国の関税措置でサプライチェーンに混乱が生じており先行き不透明。 ・ ASEAN地域については高金利・ローン審査厳格化影響が長期化しており、低調な国内販売が継続。
造船	・中韓造船会社も、新造受注を伸ばし、引き続き 安定した契約残を確保。 日・韓造船会社は人手不足などで建造能力を伸ばせない一方、中国は建造能力を急拡大しており、中国シェアが一層高まる見通し。
エネルギー	・世界経済の緩やかな成長や地政学的緊張状態の高まりを背景に、 エネルギー安定供給ニーズは引き続き強く、中期的に堅調な需要が見込まれる。 ・OPECの減産緩和や米国の関税措置に伴う景気後退リスクが意識され、 開発先送りや汎用品を中心とした在庫圧縮の動きが出る可能性がある。



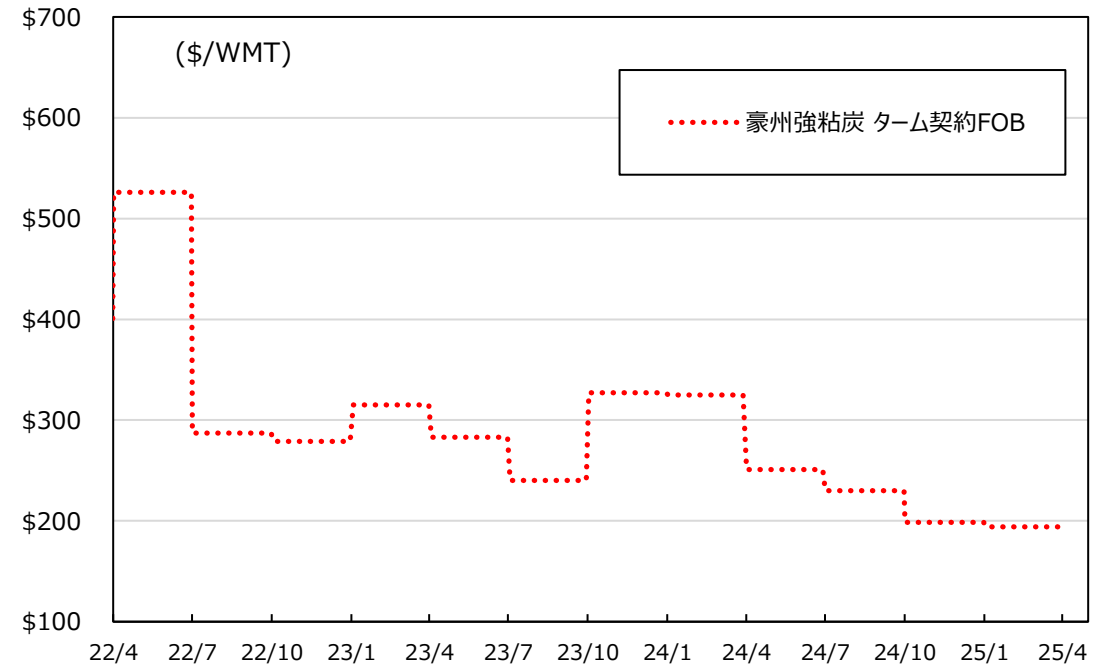
足元の原料市況動向

鉄鉱石（豪州粉鉱）



ターム 契約 FOB	2023年度				2024年度				2025 年度
	4-6 月	7-9 月	10- 12月	1-3 月	4-6 月	7-9 月	10- 12月	1-3 月	4-6 月
\$/DMT	112	107	103	113	121	101	92	89	97

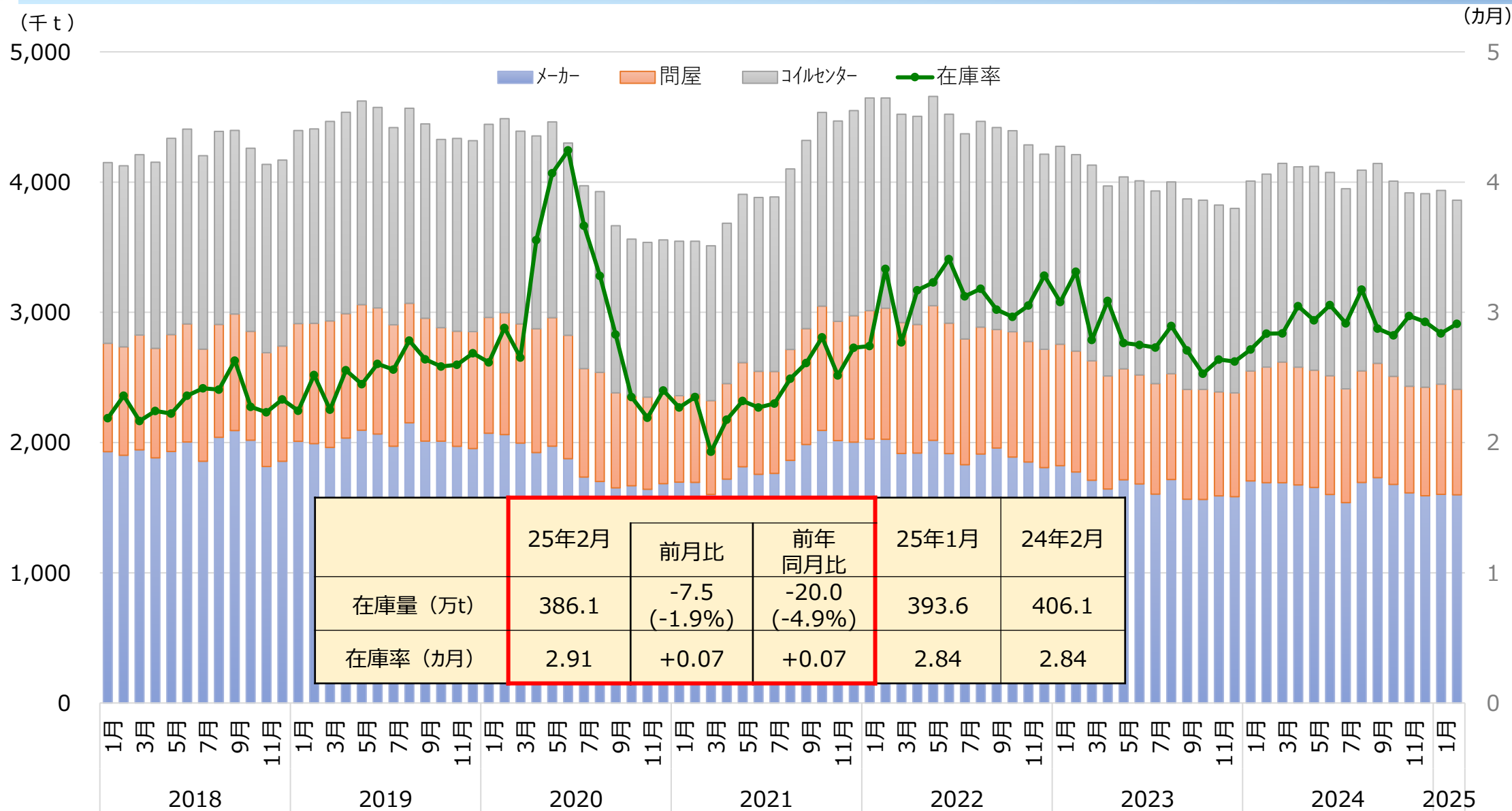
原料炭(豪州強粘炭)



ターム 契約 FOB	2023年度				2024年度				2025 年度
	4-6 月	7-9 月	10- 12月	1-3 月	4-6 月	7-9 月	10- 12月	1-3 月	4-6 月
\$/WMT	283	240	327	325	251	230	198	194	-

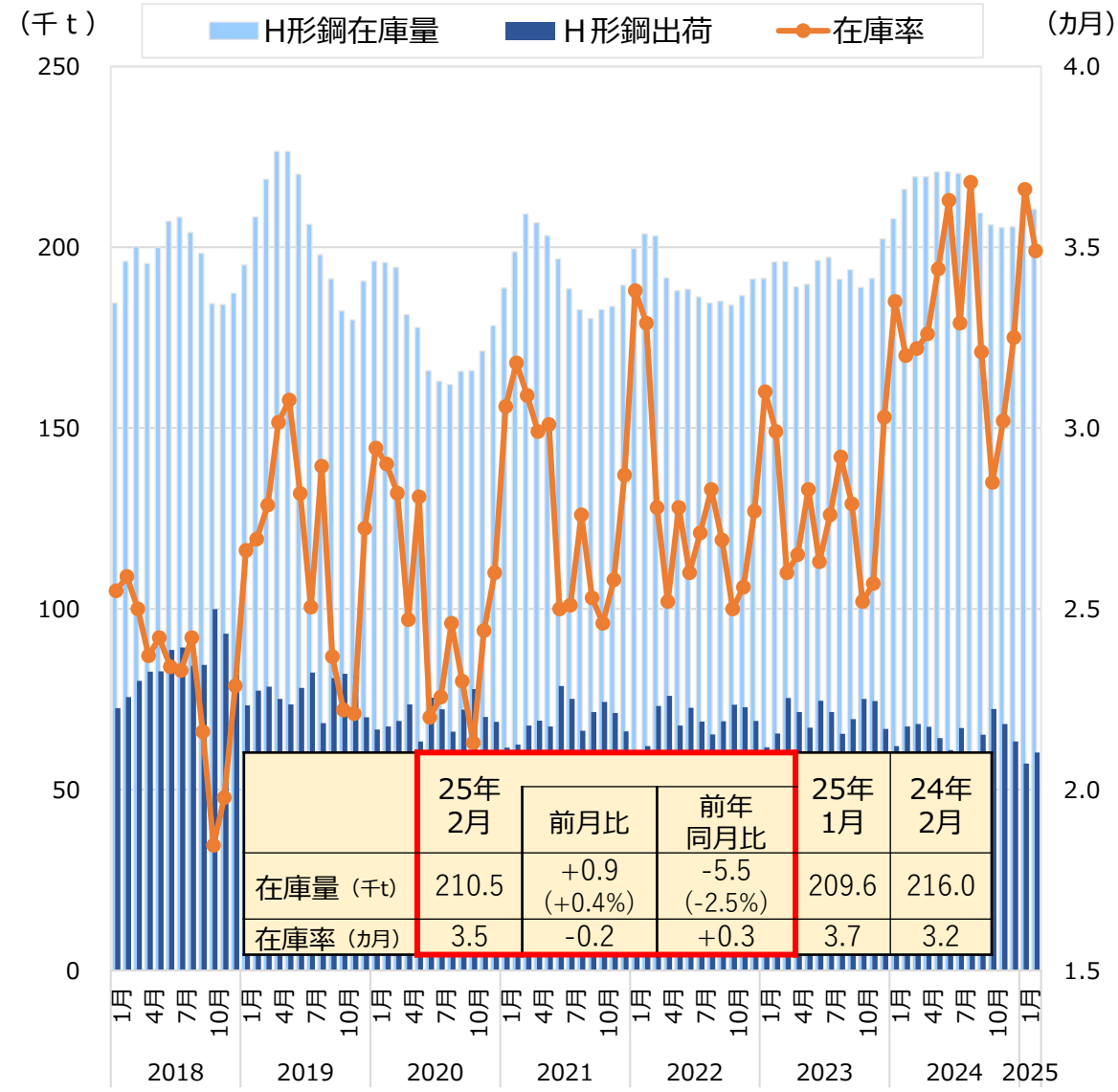
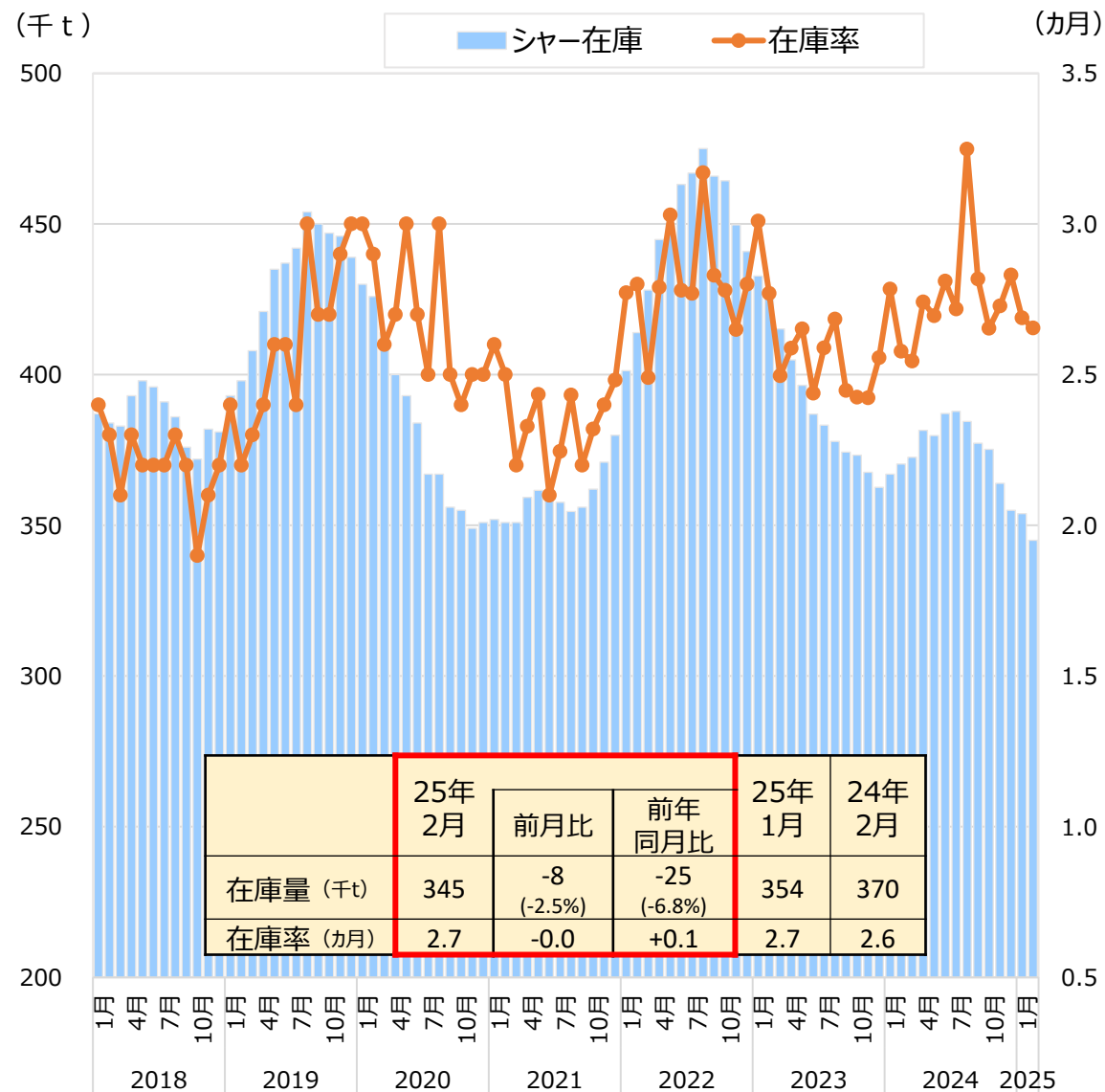
国内販売環境

薄板 3 品在庫



国内販売環境

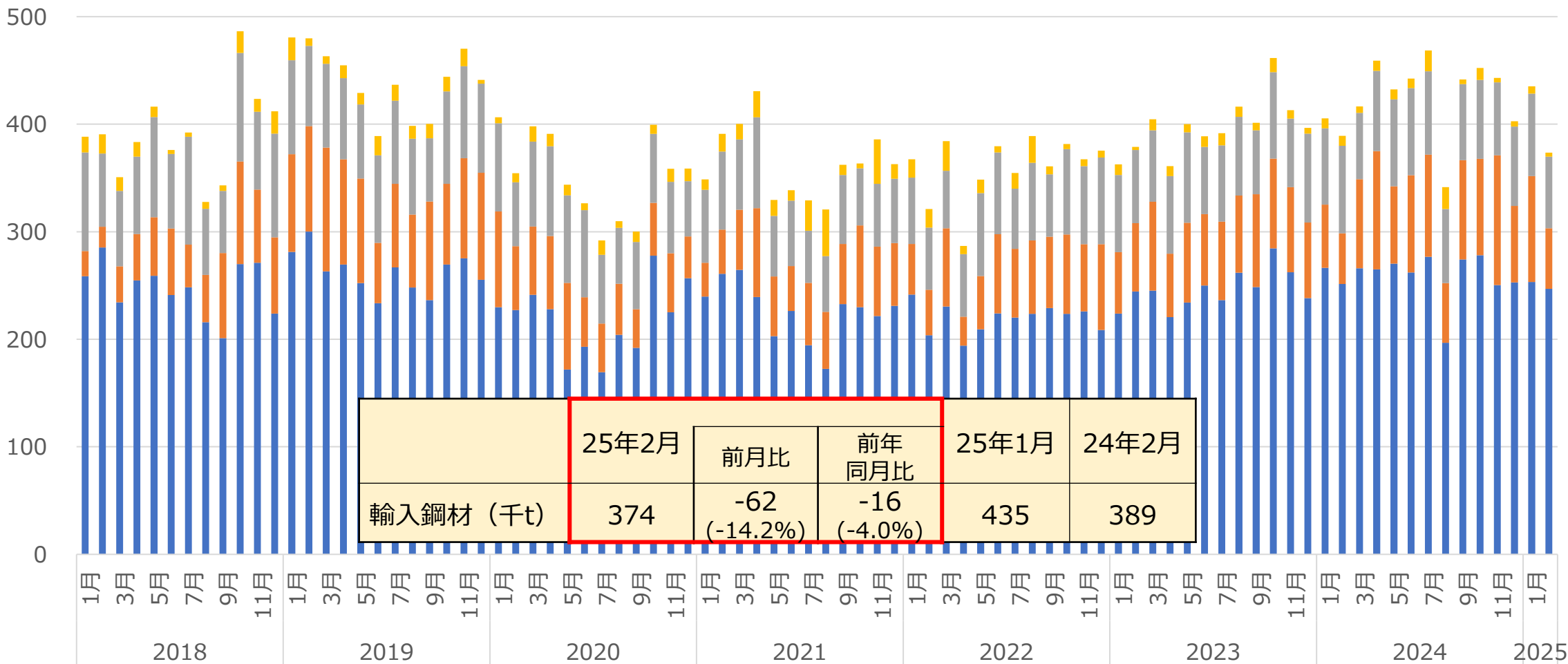
厚板シャー・H形鋼在庫



輸入鋼材（普通鋼/国別）

600

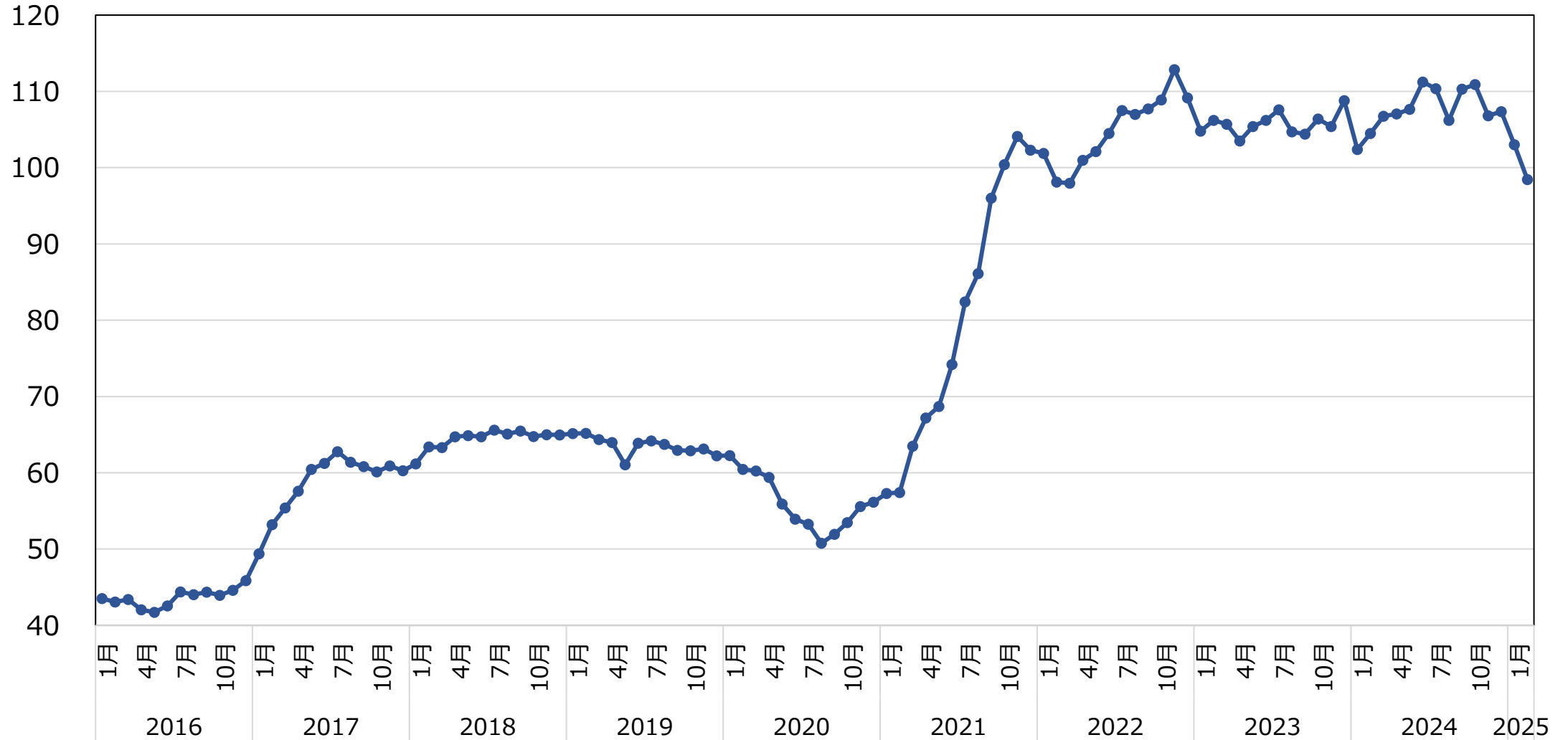
■ 韓国 ■ 中国 ■ 台湾 ■ その他



国内販売環境

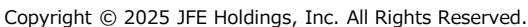
輸入鋼材価格

(千円/t)

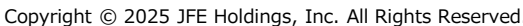


日本鉄鋼連盟データより作成（韓国から輸入の熱延広幅帯鋼）

中国粗鋼生産・輸出入

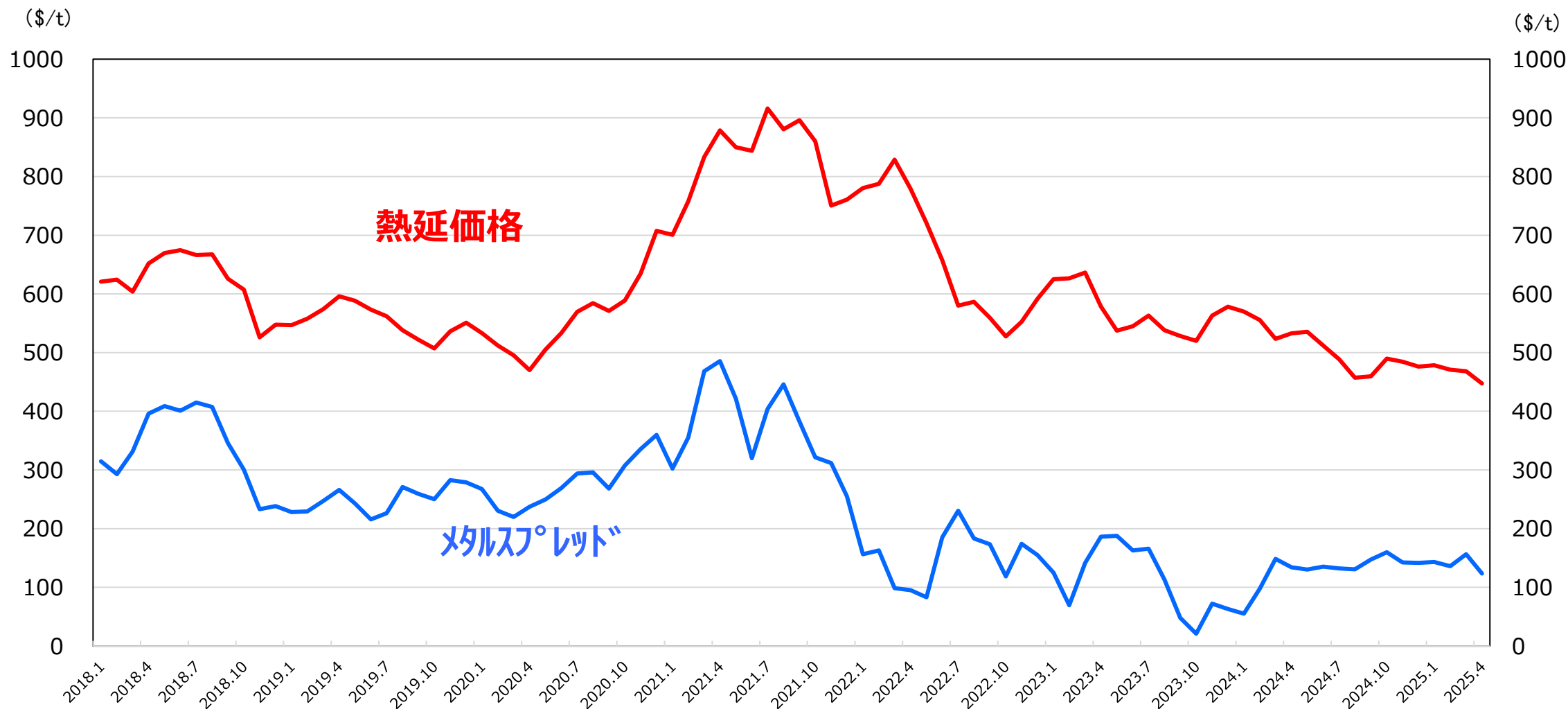


中国品種別在庫数量



海外販売環境

(中国スポットベース)
メタルスプレッド



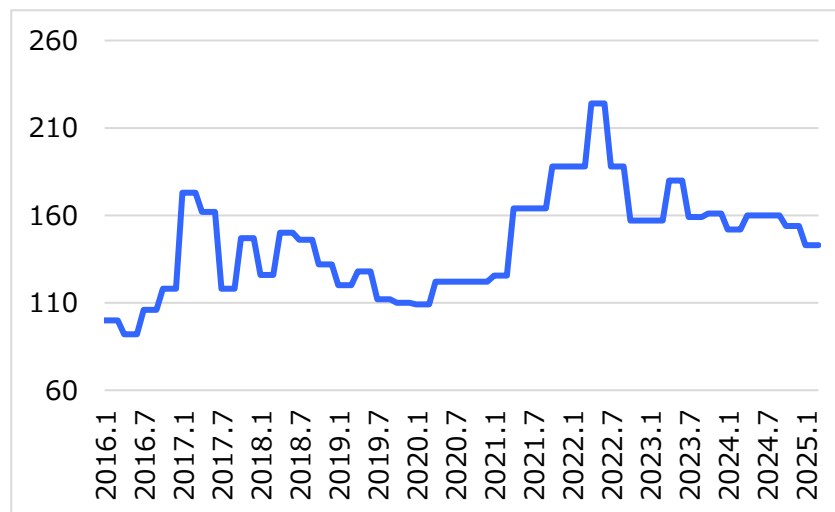
メタルスプレッド = 熱延価格 - 主原料コスト

※熱延価格：中国5都市平均価格、主原料コスト：粉鉱石、強粘炭国際スポット市況ベース

原料

金属市況推移

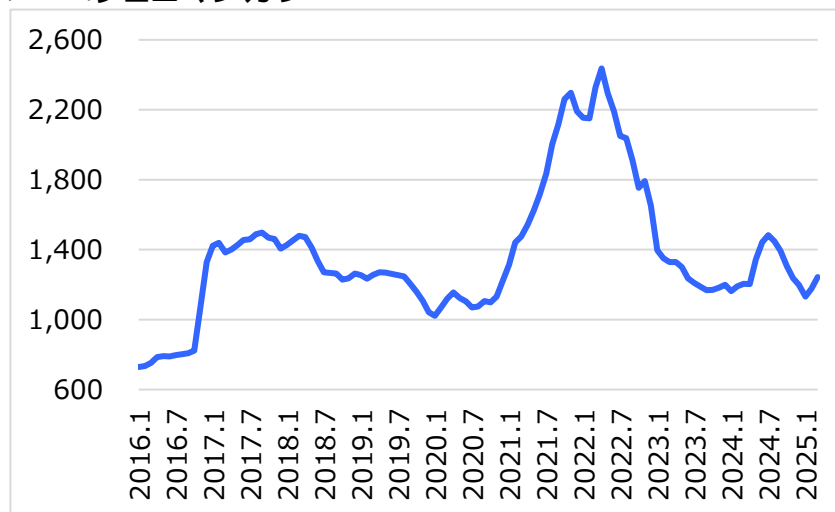
(¢/lb) フェロクロム



(US\$/t) 亜鉛



(US\$/t) フェロマンガン



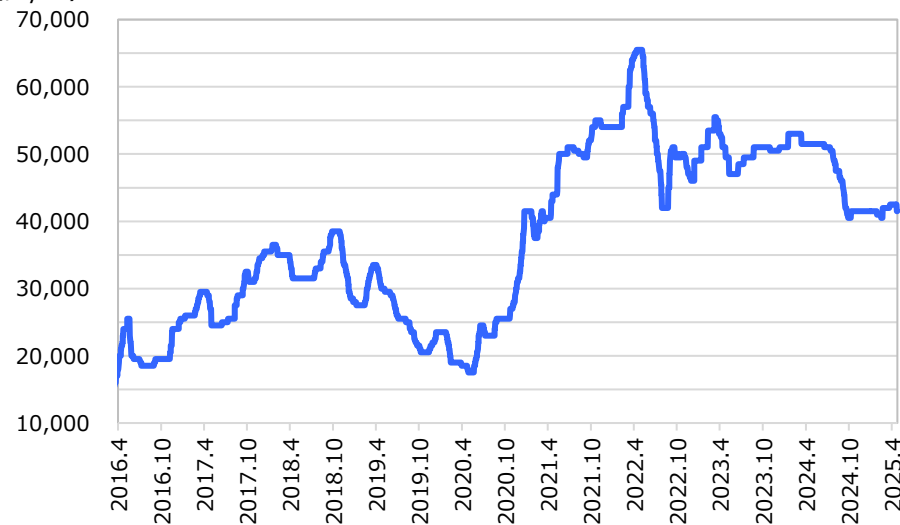
(US\$/lb) モリブデン



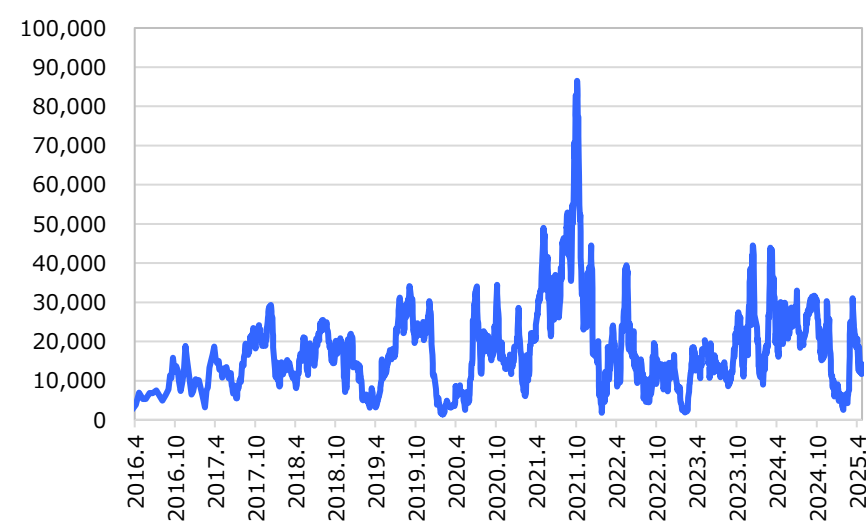
原料

その他市況推移

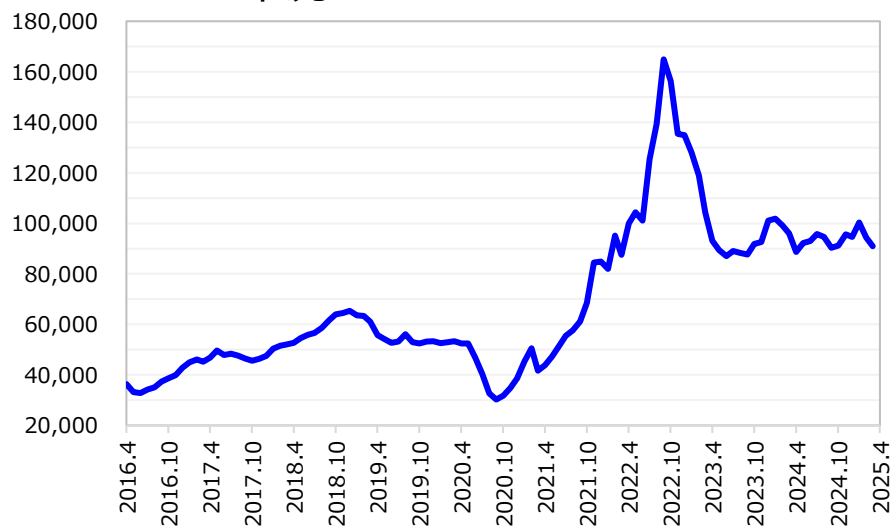
(円/t) スクラップ市況



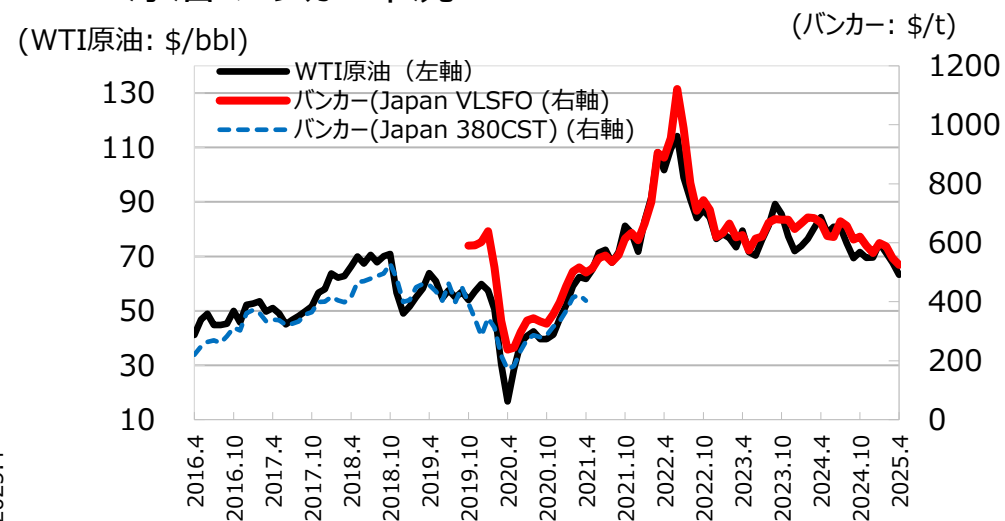
(\$/B) スポット備船市況



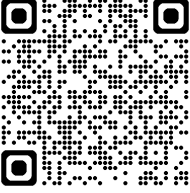
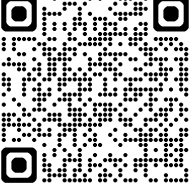
(円/t) LNG市況



原油・バンカー市況



2024年度発行資料 リンク集

資料名	URL	QRコード
JFEグループレポート 2024 (統合報告書)	https://www.jfe-holdings.co.jp/investor/library/group-report/index.html	
サステナビリティ	https://www.jfe-holdings.co.jp/sustainability/	
サステナビリティ報告書 2024 環境データ集	https://www.jfe-holdings.co.jp/common/pdf/sustainability/data/2024/2024_07_01.pdf	
DXレポート 2024	https://www.jfe-holdings.co.jp/investor/library/dxreport/index.html	



JFE

Copyright © 2025 JFE Holdings, Inc. All Rights Reserved.

本資料の無断複製・転載・webサイトへのアップロード等はおやめ下さい